



13648

東急TF36H2C3S型
セミトレーラ外觀四面図



北信技第834号
平成22年3月23日

東急車輛製造株式会社取締役特装自動車事業部長 殿

北陸信越運輸局自動車技術安全部

改造概要等説明書(改造自動車等審査結果通知書)



(指示事項)

1. 本試作は製造番号TF36H2C3S-G255の1台限りとする。
2. けん引車は、車名 日野、型式 BDG-SS1EKXA (第5輪荷重18.0t) で検討した。
3. 道路運送車両の保安基準第4条(車両総重量)について緩和認定を要する。

主要諸元比較表 (試作車・組立車)

項目	標準車	改造車	基準	項目	標準車	改造車	基準
車名		東急		乗車定員人			
型式		TF36H2C3S		最大積載量 kg		26,300	
自動車の種別		普通		前前軸重		11,400	
用途		貨物		車両			
車体の形状		セミトレーラ		後前軸重		8,200	≤10t
燃料の種類				後中軸重		8,195	≤10t
原動機型式				後後軸重		8,195	≤10t
総排気量 ℓ				計		35,990	
長さ m		12,610(11,400)	≤12m	最大安定傾斜角度°		右 49°※ 左 49°※	一般≥30° その他≥30°
幅 m		2,490	≤2.5m	前前軸			
高さ m		3,110	≤3.8m	タイヤ			
軸距 m		8,910+1,300 +1,300=9,510		サイズ			
軸距 m	後前軸	1,850		前前軸			
	後中軸	1,850		後前軸		11R22.5-14PR	
	後後軸	1,850		後中軸		11R22.5-14PR	
室内又は荷台の内側の寸法	長さ m	11,800		積車時			
	幅 m	2,350		タイヤ		82.0	
	高さ m	0,210		荷重割合			
車両重量 kg	前前軸重	2,430		%		81.9	
	後前軸重	2,420		積車時前輪荷重割合%			≥18.20%
	後中軸重	2,420		リヤ・オーバーハング m		1.840	≤0.11/20, 2/3L
	後後軸重	2,420		荷台オフセット m		2,800	
計		9,690		最小回転半径 m		10.3※	≤12m

能力強度等検討書

制動能力	踏力	N 60 km/h 39.0 m	車枠強度	σ/σ 400 / (43.833×2.6) = 3.65 ≥1.6
	空気圧	637 kpa	車軸強度	東急 TF36H2C3型 セミトレーラと同一
			操縦装置強度	σ/σ - / - = - ≥1.6
				緩衝装置強度
回転数	Nc/N	- / - = -	制動装置強度	東急 TF36H2C3型 セミトレーラと同一
強度	σ/σ	- / - = -	連結装置強度	東急 TF36H2C3型 セミトレーラと同一

注1: 能力検討値は、該当しないものは-、省略したものは×を記入すること。
注2: ※印は、日野、BDG-SS1EKXA型 トラックとの連結時の計算値を示す。

(日本工業規格 A列4番)

TK-2565 1773-646

(中) 74032577

構造等の概要

目的	分割可能な貨物の安全輸送を図るため、(脱着式スタンション型)セミトレーラとして新たに製作されるものである。
車枠及び車体	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガー及びクロスメンバーとは電気溶接で組まれており、前部下面にキングピンを、後部に車軸装置を取付けている。突入防止装置は既出資みの2QAを取付ける。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	東急 TF36H2C3型セミトレーラと同一 (21国自審第1259号新型自動車第02125号) 車軸は高張力鋼で、中空角型断面チューブの両端にスピンドルを溶接した構造である。
操縦装置	
制動装置	東急 TF36H2C3型セミトレーラと同一 (21国自審第1259号新型自動車第02125号) (主ブレーキ) 気圧内部拡張式 (駐車ブレーキ) スプリング式 ABS装置一式
緩衝装置	東急 TF36H2C3型セミトレーラと同一 (21国自審第1259号新型自動車第02125号) イコライザー付きトリプルスプリングサスペンションの半だ円板ばね型である。
連結装置	東急 TF36H2C3型セミトレーラと同一 (21国自審第1259号新型自動車第02125号) 第5輪方式
燃料装置	

注 該当する事項が無い場合には、斜線で記入する事